

# つなぐ PLUS

- | 01 新学長メッセージ
- | 02 [特集]  
OECUイノベーションスクエア  
第2期竣工
- | 07 大学NEWS & TOPICS
- | 08 FOCUS ON! LAB
- | 09 高校NEWS & TOPICS
- | 11 CLUB & CIRCLE
- | 13 2022年度 人事
- | 14 ご支援のお願い
- | 15 「ヒト・コト」コラム

## OECU INNOVATION SQUARE 第2期竣工

大阪電気通信大学



つなぐ知 かなえる技

学校法人 大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

# TOP MESSAGE

| 新学長メッセージ |

## Society5.0時代を 生き抜く人材の 育成をめざす

学長 塩田 邦成



このたび第12代学長に就任し、大学運営の重責を担うこととなりました。本学のさらなる発展のために努める所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年、本学は学園創立80周年、大学開学60周年を迎え、今年3月には周年事業の核であった寝屋川キャンパスの新棟「OECUイノベーションスクエア」が竣工しました。新棟は、イノベーションの創出やコミュニケーション能力育成の場となることを願って、オープン化をコンセプトとしました。新しい拠点で教育研究がますます高度化することを期待しています。

さて、本年は学園第2次5カ年計画の1年目です。学園全体の重点方針である「教育・研究及び経営基盤の質的レベルの向上」をめざして取り組みを進めます。

特に、本学の強みであるICT教育をさらに推進します。数理・データサイエンス・AI等

全学共通情報教育の充実と「専門教育×ICT」の深化で、Society5.0時代を生き抜く人材の育成をめざします。

また、大学院の充実と研究力の強化を進めます。社会から研究課題を見つけ、成果を社会に還元する、社会と大学の強固な好循環モデルの確立を追求します。

加えて、国際化の推進も課題です。仕事で外国語に接する、外国人の同僚がいる、外国出張・赴任などは普通のことになり、専門の語学力や異文化理解の力が必要です。国際性も実学のひとつになってきたのです。

本学の教育理念は、「人間力」と「技術力」を育み、自らの力で人生を切り拓いていける実践的な実学教育です。社会のニーズと連動して教育研究を絶えず見直し、「実学」の内容をバージョンアップし続けます。

少子高齢化が進む中、社会の担い手を育成することは高等教育機関の使命です。

本学はその一翼を担うため、これからも存続し続けなければなりません。「社会的使命に応えて変化し続ける大学」、「社会の変化に対応できる人材を輩出する大学」、それが大阪電気通信大学のめざす「役立つ大学」です。使命感をもって大学運営に取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

### PROFILE

#### 塩田 邦成 | SHIOTA Kuninari

1956年山口県生まれ。1978年3月立命館大学卒、2014年3月東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。1978年4月学校法人立命館職員。日本私立大学連盟事務局出向、立命館アジア太平洋大学事務局長等を歴任。2016年国立大学法人山口大学客員教授。2017年本学大学事務局長、本法人理事を経て、2022年4月より現職。専門は高等教育論・大学経営論。



# OECU INNOVATION SQUARE IS COMPLETED

## あらゆる学びが交差する!

OECUイノベーションスクエア 第2期 ついに完成  
研究室の壁をなくし、いろいろな専門分野が混ざり合うことでイノベーションが生まれる環境をつくっていききたい。そのような思いからOECUイノベーションスクエアと名付けられた新しい学び舎は、2022年、東側半分も竣工し、ついに完成を迎えました。学生同士が偶発的に出会い、刺激し合う空間で、学科や研究室の枠を超えてコミュニケーションとアイデアを創出し、学びの形までも変えていきます。

**1 Project Room** | 実験室の向かいにあり、実験のアイデアを持ち寄るのに最適な空間。部屋の名称には国際単位系の接頭辞であるpicoやnano等の理系ならではのサインが取り入れられています。

**2 Student Lounge** | 学生・教員のコミュニケーションの場として生まれたラウンジ。学生同士が互いに刺激し合い、切磋琢磨しています。

**3 Lab** | 大学全体の学びが「見える化」された実験室。ガラス張りのオープンな環境で専門外の学びに触れることにより、たくさんの発見が生まれています。

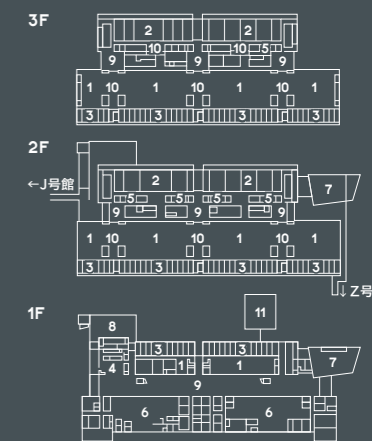


### 竣工式を執り行いました

3月18日(金)に、東修平四條阪市長、西端勝樹守口市長をはじめ、多くのご来賓・関係者の皆さまにご参りいただき、新しい学び舎の完成を祝いました。



### FLOOR MAP



- 1 研究室
- 2 実験室
- 3 教員室
- 4 i Lounge
- 5 Project Room
- 6 事務室
- 7 3D 造形先端加工センター
- 8 コンベンションホール
- 9 パサージュ
- 10 Student Lounge
- 11 アクティビティホール



### 全長130mの研究室

第2期が完成したことで全長130mの研究室が完成しました。あえて高層に積み上げるのではなく横に広い低層のキャンパスにすることで、学科の壁を飛び越えた学生同士の新しい出会いが生まれています。



### 研究室は、壁ではなく家具で仕切る

研究ごとに個別の研究室をつくるのではなく、学科ごとのオープンな空間へ。壁を取り払ったことで専門外の研究も目に入るように。これまでにない発見につなげ、研究のイノベーションを起こしていきます。

活発なコミュニケーションを行うことで人間力を高めて、イノベーションを生み出してほしい。その想いから家具や照明等は、木製のものを採用。差し色として使うことで明るい空間を実現しています。



### 木製の家具を使い居心地のよさを追求

# 学びとキャンパスにイノベーションを! OECU INNOVATION SQUARE 7つの革新



### 4 ひとつの窓口 いくつものサポート

学務部、就職部、国際交流センター、資格学習支援センターを学生が集まるメイン通りに設置。ひとつの窓口で、学生生活を支えています。

スポーツに関する授業や部活動で活用するのはもちろん、イベント等の会場としての役割も担います。学生一人ひとりがスポーツやモノづくりに取り組む中で、体も心も動かしています。



### 5 人もロボットも動く アクティビティホール



### 6 予想外の学びを生み出す Student Lounge

研究室からメイン通りに入るエリアに設置された学生ラウンジ。この場所は、別名マグネットスペースと呼ばれており、学生同士が引きつけ合って新しいアイデアを生み出してほしいという願いが込められています。



### 7 実験室は、ガラス張り オープンな学び舎

ガラス張りで設計されたオープンな実験室。廊下から中の様子を見ることができるため、専門外の実験にも数多く触れることが可能になりました。多くの学生が気づきや発見を得て、自らの研究に活かしています。

## OECU INNOVATION REPORT

OECUイノベーションスクエアだからこ生まれたアイデア

オープンな研究室で、学生の発想やアイデアを伸ばしていきたい。新棟にはそのような願いが込められています。2020年の第1期竣工のタイミングで新棟に移動し、研究を進めている研究室を深掘り。新たに生まれた研究や、OECUイノベーションスクエアだからこ起きた変化などを紐解いていきます。

### 環境科学科 田中研究室



### 研究内容

この研究室では、固体と液体をわける固液分離に関する研究を進めています。たとえば、浄水処理や食品の開発等に役立てることが可能。よりよい分離を行うことで、食品ロスの削減やエネルギー効率を高めることにもつながる技術です。研究室を新棟に移動させた後は、バイオガソリンのための微細藻類のろ過にも挑戦。さらに、他の研究室の学生と議論を重ねながら研究を進めたり、学生ラウンジで打ち合わせをしたりする等、新しい研究の形も生まれています。さまざまな学びを掛け合わせて、環境研究・教育をより発展させていきます。



田中 孝徳 講師 | TANAKA Takanori  
2016年より工学部環境科学科講師。  
【専門分野】  
化学工学、分離工学、有機合成化学  
【研究テーマ】  
資源回収・資源利用を指向した固液分離工学

# OECU INNOVATION SQUARE SPECIAL TALK

| 新学長×竹中工務店設計担当者 竣工記念 特別対談 |

## あらゆる壁を取り払い 想像を超えた イノベーションを

2022年3月にOECUイノベーションスクエア第2期が竣工を迎え、新しい学びの形が生まれようとしています。開発に携わった竹中工務店の加藤様をお招きし、塩田新学長と対談を実施。新棟に込めた想いを語り合っていました。



SHIOTA  
KUNINARI



## 新棟のコンセプトは「オープン化」 ひらかれた工学系教育へ

**塩田** 本日はお越しいただきありがとうございます。一緒にプロジェクトを進めてきた加藤さんとの対談を楽しみにしていました。

**加藤** こちらこそありがとうございます！わたしも今日の対談を楽しみにしていました。2016年に入社してすぐにこのプロジェクトに参加したので、OECUイノベーションスクエアができるのと一緒に成長してきた感覚があります。

**塩田** わたしは2017年に大学事務局長に着任、同時にこの新棟プロジェクトを任されることになりました。それまでの経験から、もっとひらかれた工学系教育のあり方を模索していたわたしにとって、オープン化という新棟のコンセプトはとても魅力的でした。工学系教育を前へと進めていけるような大きな可能性を感じました。

**加藤** 今回の設計では、建物の構造をあえて低層にし、つながりを築けるキャンパスをめざしました。壁をなくした研究室やガラス張りの実験室を三層吹き抜けのパサージュで一貫させることで、学生や教職員同士のつながりを生み出し、社会へ発信できるキャンパスにできるのではないかと。そのような想いを提案に込めました。

**塩田** 既存の学び舎と新棟をデッキで結ぶというアイデアにも心を打たれました。人の流れや他の棟との連携まで含めて考えていただいたことで、キャンパス全体の活性化にもつながっていると感じています。



## 各学科の先生たちと対話を重ねて いくつものアイデアを形に

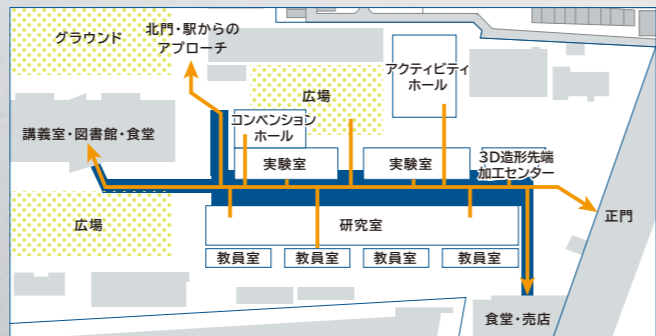
**加藤** 大学の先生方にコンセプトをお伝えするために、各学科の会議にすべて同席してもらいました。

**塩田** わたしはこれまでに、さまざまな建築プロジェクトに携わってきましたが、設計担当の方に学科の会議まで入ってもらったのは今回ははじめてです。加藤さんには、本当に尽力していただいたと感謝しています。

**加藤** うれしいです。対話を重ねる中で、先生たちからもアイデアをいただけるようになりました。たとえば「学生ラウンジ」は「研究している学生たちの居場所がほしい」という意見をもとに、人が自然に集まるマグネットスペースをつくることで、偶発的に会話が生まれて、学生同士の交流が増えるのではないかと考えて提案したものです。

**塩田** そのほかにも、学生が研究しやすいような什器を開発するなど、先生方とともにアイデアを形にすることができました。それは、得がたい経験になりました。

OECUイノベーションスクエアを中心としたキャンパスの動線計画



KATO  
MIYU

### PROFILE

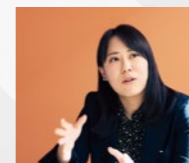
株式会社竹中工務店 設計部  
加藤 実悠氏 | KATO Miyu

入社1年目から寝屋川キャンパスリニューアルプロジェクトに参画。基本計画から詳細設計、キャンパス全体のゾーニングまで幅広く携わる。



## 人間力・技術力という大切な理念を 空間のすべてで体現する

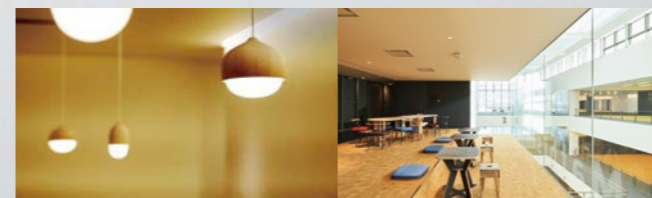
**加藤** 大阪電気通信大学は「つなぐ知 かなえる 技」という言葉を掲げ、人間力・技術力を高めることを大切にされています。新棟にもその教育理念が体現できるようにすべての空間をデザインしました。オープンなコミュニケーションを通して人間力を育ててもらえるよう、「パサージュ」は自然光が降り注ぐ気持ちのよい空間としたり「i Lounge」では木材を使った照明やインテリアを用いて優しい空間とすることで、コミュニケーションを誘発する環境をつくりました。



**塩田** 研究室の壁を取り払ったことで、建築学科の学生が制作した模型を他の学科の学生が話題にしている姿を目にしました。

**加藤** 早速コミュニケーションが生まれていてうれしいです。技術力という面では、金属やガラス等、スタイリッシュな材料を活用しました。さらに、階段や「パサージュ」等、構造体を見せるデザインを採用しており、力学的な流れを学べる場所にできればよいと思います。

**塩田** 見て学べるキャンパスですね。「つなぐ知」ということと言えば、以前のキャンパスの基礎に使われていた1,200本もの松杭を何かに活かさないかと考えました。家具をつくりたり、掘り起こした杭を展示したり、当時の技術や知恵を知ってもらい、これからの時代に引き継いでほしい。そういうメッセージも込めています。



## 一人ひとりが自由な視点で 想像を超えた使い方をしてほしい

**塩田** わたしは新棟のことを「スマホ」だと思っています。スマホは電話、SNS、ゲーム、おサイフ、さまざまなものを詰め込んで価値を生み出しました。なんでも入れる。混ぜる、つながる、生まれる。そうすることで新しい価値をつくる。この施設もそうあってほしいです。たとえば、吹き抜けの階段は特設のスクリーンに映像を投影できるようになっていて、シアターのようにプレゼンテーションやイベントができるんです。自由な視点で想像を超えるような使い方を期待しています。

**加藤** スマホですか。とてもおもしろい視点ですね。わたしは新棟のことを「真っ白なキャンパス」だと思っています。これからいろいろな研究、活動、コミュニケーションが生まれていく中で、どのように彩られていくのか楽しみです。

**塩田** 今後ますます、日本でも加速度的に多様化が進んでいくでしょう。大学としても留学生や社会人の方も積極的に受け入れるような環境をめざしていく。そのような環境の中で学生たちに社会で役立つための力を身につけてほしい。この場所からわたしたちの想像を超えるような自由なチャレンジが生まれてくるのを楽しみにしています。



## 01 2021年度 なわてんグランプリを開催

2021年度なわてんグランプリを開催し、各受賞作品が発表されました。今年度は、コンテストの内容を大幅に見直し、ゲーム、メディアデザイン、研究等、各部門による表彰を行いました。授賞式のイベントは、すべてオンラインで行われ、司会は本学公式VTuberの「初日乃うい」と公認VTuberの「月城紗夜」が担当。当日は、総合情報学部長の渡部隆志教授の開会挨拶から始まり、各部門の審査員代表教員からの講評、受賞学生のコメント、関係者や大石利光理事長・学長からのビデオメッセージなど、充実した内容で幕を下ろしました。



## 02 実学道場プロジェクトで 資格取得をめざそう!

「実学道場プロジェクト」とは、資格の有効性の認知や、取り組みによる知識の定着や達成感によって学修意欲向上をはかる学生支援プロジェクト。特に難関とされる資格を取得した学生には学長賞、その他資格の種類や年次に応じて学部長賞や学長奨励賞が贈られています。

### 2021年度資格取得者数

#### 学長賞 76人

ITパスポート試験 1人 | 基本情報技術者試験 35人 | 2次元CAD利用技術者試験2級 1人 | 3次元CAD認定試験CSWA初級 2人 | 3次元CAD認定試験CSWP上級 4人 | CGクリエイター検定(エキスパート) 2人 | TOEIC L&R(730点) 1人 | 色彩検定®2級 4人 | 工事担任者試験第一級デジタル通信 1人 | 第一種電気工事士 10人 | 第一級陸上無線技術士 3人 | 第2種ME技術実力検定試験 1人 | 上級情報処理士 4人 | ウェブデザイン実務士 3人 | 二級電気機器組立て技能士(シーケンス制御作業) 4人

学部長賞 310人 | 学長奨励賞 106人

## 03 2021年度 学位授与式

3月19日(土)、2021年度学位授与式を四條畷キャンパスで行い、1201人(学士:1126人、修士:71人、博士:4人)の学生に学位記を授与しました。今年度は密を避けるため式典を4部制で行い、学位記は学科ごとに分かれて授与しました。当日は、ご出席いただけない方に向けてJIAMSによる動画配信を行いました。



## 04 2022年度 入学式

4月2日(土)、2022年度の大学・大学院入学式を四條畷キャンパスで行い、1437人の新生が満開の桜に迎えられてキャンパスの門をくぐりました。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染対策として、式典は4部制で実施。式典の様子はJIAMSによって動画配信されました。



## 05 寄付者顕彰

学園創立80周年記念事業募金に、大阪電気通信大学高等学校同窓会よりご寄付をいただきました。3月26日(土)に北田由博会長より大石利光理事長へ目録が贈呈されました。



その他新着情報は  
こちらから



# FOCUS ON! LAB

Vol.02



### 佐藤研究室

情報通信工学部通信工学科  
先端ネットワーク工学研究室

## 次のインターネットの仕組みを探究する

佐藤研究室では「次」のインターネットの仕組みを模索しています。現在のインターネットシステムは50~60年前に設計されたもの。だからこそ、よりセキュアで時代に合った先端ネットワークが求められています。学生たちは、研究の軸であるネットワークにかかわるテーマを各々設定。ネットワーク測定・品質制御、SNS情報分析など、幅広い選択肢が魅力

のひとつです。通信に興味を持つ学生が集まっているからこそ、意見交換や議論も活発に行われています。コロナ禍によって、通信データの量は倍近く増えており、より安定的に通信できるネットワークを構築することが大切になってくるでしょう。これからの時代に欠かせない通信技術を探究する。この挑戦に終わりはありません。



### 佐藤 寧洋 准教授 | SATO Yasuhiro

情報通信工学部 通信工学科 准教授  
博士(工学)  
[専門分野]  
情報ネットワーク工学  
[研究テーマ]  
新世代ネットワークの実現に向けた高信頼性ネットワークアーキテクチャの提案

### 「やってみよう」を支えて、 学生が没頭できる環境をつくりたい

この研究室では、研究だけでなく学生の「やってみよう」を支えることを大切にしています。学生の考えを知るために日々のコミュニケーションは欠かせません。ここで学が学生一人ひとりが、主体的に自分の興味に没頭しながら、通信の可能性を広げています。



入室管理システムを開発し、  
佐藤研究室でも  
実際に使用している



NEW!

NEW!

制服をリニューアル!

2022年度より

## 大阪電気通信大学高等学校

### [ UNIFORM & ITEM ]



### スポーツウェア

本校では、生徒に人気の adidas の体操服を採用しています。



adidas はデザイン性だけでなく、伸縮性や吸汗性にも優れており、スポーツウェアとして納得のクオリティです。また、学年ごとにカラーが異なります。

### 工学科

### NEW 工学理数コース(特進)

2022年4月 理数コースから名称変更

工学(工業専門科目)と英語・数学・理科を学び理工系難関大学に進学

理工系国公立・難関私立大学への進学をめざし、電子情報技術とコンピュータを学びつつ英語・数学・理科を中心に学力を強化します。



# NEWS & TOPICS

HIGH SCHOOL

## 01 全教室にプロジェクターと Apple TV を設置

2021年度、全教室にプロジェクターと Apple TV を設置しました。教員や生徒の iPad から、Apple TV を使ってワイヤレスで画面共有を行うなど、前年度に整備した全校無線 LAN 環境とあわせて、ICT を活用した学びを推進しています。



## 03 2021年度 卒業式

大阪電気通信大学高等学校の卒業式は、2月19日(土)に体育館で行われ、普通科・電子工業科合わせて328人が卒業しました。卒業式当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、在校生は参加を見合わせ、保護者の方は1名までの人数制限を実施。当日入場ができない方々には大阪電気通信大学JIAMSの協力により動画配信にて式の様子をご覧いただきました。



## 02 第68回大阪府私学 総合体育大会 卓球の部 準優勝!

11月7日(日)に行われた大阪府私学総合体育大会 卓球の部において、卓球部が準優勝に輝きました。あと一歩のところまで優勝とはなりませんでしたが、今までの最高ベスト8の記録を大きく塗り替える結果となりました。また、卓球部は12月にも第36回近畿高等学校新人卓球大会にも出場するなど、精力的に練習・試合に取り組んでいます。

2021年度は選手権大会・新人大会・大阪府総合体育大会の3大会ですべて大阪府第3位(約110校中)となり、近畿大会でもベスト16まで勝ち進むことができました。今後さらに上位の成績を収められるようがんばります!



## 04 2022年度 入学式

4月7日(木)、大阪電気通信大学高等学校の体育館で入学式が行われ、普通科・工学科合わせて482人が入学しました。新型コロナウイルス感染症の影響により参列を制限し、保護者の方、来賓の方に向けてはライブにて式典の様子を配信する形で執り行われました。式後には、副校長、教頭、1学年主任と担任の紹介が行われ、担任の先生の引率で各クラスルームに移動してHRやクラス写真の撮影を行いました。



その他新着情報は  
こちらから



# CLUB & CIRCLE

## UNIVERSITY

### 弓道部

**DATA** | 部員 | 18人  
| 活動日 | 月曜日から金曜日17:00-20:00 土曜日10:00-13:00

#### 自分自身と向き合い 精神力を鍛える

弓道は、和弓で矢を射て的中する日本の武道。各自で自由に弓を引く射込み稽古を通して射技の向上に取り組み、その後は、「立」という的中率を記録する試合に近い形式での練習を行っています。一連の所作を通して、集中力・精神力・礼儀作法等、将来に生きる力を養っています。主将の稲田さんに弓道の魅力を聞くと「心身を鍛えられること。弓道は対戦相手がいるようなスポーツとは違い、ほとんどが自分との戦いです。練習や大会等でうまくいかないときに、スランプに負けず立ち向かえる集中力・精神力を鍛えることができる」と教えてくれました。部の目標は、部員全員が、卒業までに初段以上を取得すること。コロナ禍で試合や全体での練習が難しい状況の中、弓道部の部員は、ひたむきに自分と向き合い静かに鍛錬を重ねています。



**主将** 稲田 善文  
総合情報学部 ゲーム&メディア学科 4年  
※2021年10月時点での主将です。

#### 初心者でも大丈夫 ともに精進できる仲間を待っています

弓道部は、関西学生弓道連盟でのリーグ昇格を最も大きな目標として活動しています。弓道に対して、「難しそう」「大学からでは遅いのでは」というイメージを持っている方もいるかもしれませんが、心配無用です。わたしを含め、現部員の半数以上が大学から弓道を始めています。新しい経験をしてみたい方や、前から興味があったという方は、ぜひ一度のぞきにきてください！ともに精進できる仲間に、きっと出会えると思います。

# BASEBALL CLUB

## HIGH SCHOOL

### 硬式野球部

**DATA** | 部員 | 87人  
| 活動日 | 週6日(月曜日休み) 平日3時間程度 土日祝8時間程度  
| WEB | <https://sites.google.com/dentsu.ed.jp/oecubbc/>

#### 感謝の気持ちを大切に 小さなグラウンドから大きな結果を

硬式野球部は、いま強くなり続けている注目の部活です。2021年夏の「高校野球大阪大会」で創部初となるベスト8まで勝ち進み、大躍進を遂げました。「いまある環境に感謝し、精一杯練習に励むことが彼らの強さにつながっていると思います」と語るのは岡野穂高監督。平日は、高校の小さなグラウンドを他の部活と分け合いながら工夫を凝らしてトレーニングに励み、休日には校外へ出て広いグラウンドで練習をします。その際に思い切り野球を楽しんでいることが、成績にもよい影響を生んでいるのかもしれませんが、気持ちよくプレーできる環境を整えるために、指導者、保護者、そして部員が一丸となりがんばっています。「メンバーは、レギュラーを争うライバルであり、同じ方向を向いて勝利をともにめざす仲間です」。そう語る主将の中村さんは、いまのチームに手ごたえを感じています。今年の夏の活躍が楽しみです！



**主将** 中村 康輔  
普通科 健康スポーツコース 3年

#### 個性豊かな仲間たちと 「大阪一」をめざして

硬式野球部は「元気洗剤」をスローガンとして、「大阪一」を目標に日々の練習に取り組んでいます。平日は校内で基礎練習を行い、休日は四條畷キャンパスや他校のグラウンドで、実践的な練習をしています。今年のチームは、雰囲気もよく元気とパワーがあります。個性豊かな部員一人ひとりが意識を高く持って野球に打ち込んでいます。87人全員で「大阪一」を勝ち取れるように努力を重ねていきます。



# KYUDO CLUB

## 新任教職員のご紹介

2022年4月1日付

大学教員						
	山本 昌平 工学部 機械工学科 講師	岩本 祐太郎 情報通信工学部 情報工学科 講師	森下 聖 医療健康科学部 理学療法学科 特任講師	松長 大祐 医療健康科学部 健康スポーツ科学科 特任講師	松本 知子 共通教育機構 英語教育研究センター 准教授	梶木屋 龍治 共通教育機構 数理科学教育研究センター 教授

2021年10月1日付

2022年4月1日付

大学職員			高等学校教員				
	植田 帆南 学務部 学務課	北村 依里 学務部 学務課		岡野 穂高 教諭 (保健体育)	荒木 奈々海 常勤講師 (英語)	東野 彩 常勤講師 (国語)	村上 稜 常勤講師 (数学)

## 2022年度 主な役職者

### 学校法人理事会

理事長 大石 利光

理事	塩田 邦成(大学学長)	越後 富夫(情報通信工学部長)	加藤 好文(京阪ホールディングス代表取締役会長CEO)
	福島 淳行(高等学校校長)	北田 由博(大阪電気通信大学高等学校同窓会会長、北田工業所代表)	観野 福太郎(NPOビジネス・サポート理事長)
	千松 哲也(法人事務局長)	谷 嘉久(財務部長、経営企画室長)	山口 重之(元京都工芸繊維大学副学長、名誉教授)
	寺西 正光(大学事務局長)	都倉 信樹(元大阪電気通信大学学長)	
	新川 拓也(副学長)	大下 眞二郎(一般社団法人大阪電気通信大学友会副会長)	

監事 木村 安壽(木村公認会計士事務所所長) 松宮 徹(元日本製鐵フェロー)

### 大学

学長	塩田 邦成
副学長(教学、情報教育・情報化担当)	兼宗 進
副学長(学部学科改革、高大連携、四條畷担当)	新川 拓也
学長補佐	松浦 秀治
工学部長	兼宗 進
情報通信工学部長	越後 富夫
医療健康科学部長	赤滝 久美
総合情報学部長	渡部 隆志
共通教育機構長	原田 融
工学研究科長	川口 雅之
医療福祉工学研究科長	新川 拓也
総合情報学研究科長	登尾 啓史
学務部長	柴垣 佳明
学務部事務部長	不破 信勝
学務部副部長	溝井 浩
就職部長	土田 修
入試部長	中田 亮生
入試部副部長	大西 克彦

学事部長	早野 秀樹
四條畷事務部長	吉川 茂
図書館長	松村 雅史
教育開発推進センター長	竹内 和広
メディアコミュニケーションセンター長	上善 恒雄
メディアコミュニケーションセンター副センター長	早坂 昇
エレクトロニクス基礎研究所長	安江 常夫
メカトロニクス基礎研究所長	入部 正継
情報学研究所長	来海 暁
先端マルチメディア合同研究所長	寺山 直哉
実験センター長	溝井 浩
3D造形先端加工センター長	入部 正継
国際交流センター長	上善 恒雄
研究連携推進センター長	新川 拓也
地域連携推進センター長	伊藤 義道
総合学生支援センター長	平沼 博将
スポーツ強化センター長	金田 啓稔
ICT社会教育センター長代理	兼宗 進

### 高等学校

校長	福島 淳行
副校長	杉本 純彦
教頭	内田 悟
教頭	松原 健太郎
事務長	小谷 高秋
教務部長	山口 博光
生活指導部長	唐原 太
進路指導部長	岡村 穂高
入試部長	白石 新

※2022年4月1日現在

## 学校法人大阪電気通信大学創立80周年記念事業募金



## ご支援のお願い

学校法人大阪電気通信大学は、2021年に創立80周年を迎えました。本学園は、今後深化するAI・IoTに対して、教育研究環境をさらに充実させるため、学園創立80周年記念事業として、大学は寝屋川キャンパス新棟建築整備事業、高等学校は教育設備機器整備事業を行う計画をしております。各事業にご理解をいただき、何卒ご寄付を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 1.募金用途および目標額(3億円)

- ① 寝屋川キャンパス新棟建築整備事業(募金目標額 / 2億7千万円)
- ② 高等学校教育設備機器整備事業(募金目標額 / 3千万円)

### 2.募集期間

2019年10月1日～2022年9月30日(3年間)

### 3.募資金額

個人:1口1万円以上 法人・団体等:1口10万円以上

・できれば複数口のご協力をお願いします。

・1口未満のご寄付につきましてもありがたくお受けいたします。

理事長 大石 利光

### 新棟概要

建築面積:約9,200㎡ 延べ床面積:約19,500㎡ 高さ:16.555m 階数:地上3階建 構造:鉄骨造(アクティビティホールのみ木造)  
【施設】1階:事務室、教員室、研究室、実験室、会議室、3D造形先端加工センター、アクティビティホール 2～3階:教員室、研究室、実験室、プロジェクトルーム等 【時期】第1期:2020年6月竣工 第2期:2022年3月竣工

寄付金に関するお問い合わせ先

### 法人事務局 募金推進室

Tel.072-824-1131(代) Fax.072-824-1141  
E-mail bokin@osakac.ac.jp

学園創立80周年  
記念事業募金の  
詳細はこちら



## 学園創立80周年記念事業募金芳名録

2019年10月1日より募集を開始いたしました学園創立80周年記念事業募金は、皆さまからの温かいご支援を受け、2022年3月31日現在で寄付件数530件、寄付金額は93,575,050円となりました。皆さまの深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

学園創立80周年記念事業募金へご寄付いただいた皆さまへ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

ご芳名は、2021年9月1日から2022年3月31日までにご寄付のお申し込みをいただきました方(個人・法人・団体)を掲載しました。

ご支援、誠にありがとうございました。

個人	浅田 浩子	池田 清	池田 裕喜	石川 智之	石本 一平
	市谷 浩一郎	伊與田 功	岩野 敬一	岩本 和雄	岡田 光博
	奥村 耕司	上川 直紀	河村 将	木川 栄二	木子 香
	北畑 りき子	木原 満	木村 一郎	木村 安寿	黒木 由美子
	榊原 和弘	坂本 充	猿渡 洋	渋谷 澄	徐 壯志
	千松 哲也	高木 定男	棚窪 哲司	辻 聖晃	寺西 正光
	通山 隆明	中務 貴之	中野 正三	新川 拓也	西池 奈央子
	西端 修	花岡 美咲	日原 悟	平田 貴之	福田 達也
	藤川 智彦	本所 弘之	松野 晴美	松原 正和	水本 雅晴
	宮本 隆史	八木田 さだか	山口 晋太郎	山下 文裕	山野 邦浩
	山本 静香	米田 学	涼松 英樹		

法人 株式会社 きんでん 西日本電信電話株式会社

団体 大阪電気通信大学高等学校後援会 大阪電気通信大学高等学校同窓会

## 一般・継続募金寄付者芳名録

一般・継続募金は、皆さまからの温かいご支援を受け、2021年度は寄付件数218件、寄付総額は1,308,000円(現物寄付を含む)となりました。皆さまの温かいご理解とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

一般・継続募金へご寄付いただいた皆さまへ感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。ご芳名は、2021年9月1日から2022年3月31日までにご寄付のお申し込みをいただきました方(個人)を掲載しました。

ご支援、誠にありがとうございました。

個人	東 尚子	石本 一平	茨木 陽光
	植田 一正	海老原 聡	王 少鋒
	上川 直紀	川口 雅之	北田 由博
	坂梨 貴宏	田中 孝徳	寺西 正光
	中村 文俊	新川 拓也	早野 秀樹
	深川 真之介	藤川 智彦	伏本 和人
	不破 信勝	前野 智子	松浦 秀治
	萬代 武史	山崎 敏之	山下 文裕
	吉川 茂	渡邊 俊彦	

・ご芳名は、五十音順に記載いたしました。・お名前公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。・お気づきの点がございましたら、恐れ入りますが、お問い合わせ先までご連絡いただけますよう、お願いいたします。



気になるあの人に聴く!

# 「ヒト・コト」コラム #02



## 臨床工学技士としての経験を伝えて、学生の覚悟を支えたい

わたしは、大阪電気通信大学で医療機器や身体の仕組みについて教えています。大学卒業後、社会人1年目で大病を患った際、臨床工学技士の方にお世話になり、自分の身体をもっと知りたいと思いました。それをきっかけに臨床工学技士を志し、夜間の専門学校に通って国家資格を取得したのです。わたしが病院に勤務し始めた当時は、まだ臨床工学技士の数

が少なく、すべてが手探りの状態でした。そんな中でさまざまな経験を積むことができたのは、非常に貴重だったと思います。身体に関する興味、教職課程への挑戦、そして臨床工学技士としてのすべての経験が、学生への指導につながっています。これからも、人の命に直結する「医療」を志す学生たちの覚悟を支え、常にプラスの影響を与えていきたいです。

医療健康科学部 医療科学科 准教授  
臨床工学技士 博士(工学)

橘 克典 准教授 | TACHIBANA Katsunori

## PROFILE

大学卒業後、機械機器商社勤務、専門学校を経て、大阪赤十字病院で臨床工学技士として8年間実務を経験。  
2008年4月本学医療福祉工学科\*講師。  
2020年4月より現職。

\*現 医療科学科

事前予約制

OSAKA ELECTRO-COMMUNICATION UNIVERSITY  
**OPEN CAMPUS 2022**

大阪電気通信大学を深く理解できるオープンキャンパス!  
寝屋川キャンパス・四條畷キャンパスで開催!

6/5 日 13:00-17:00

7/17 日 午前 | 9:30-12:30  
午後 | 14:00-17:00

8/20 土 午前 | 9:20-12:30  
午後 | 13:50-17:00

9/11 日 9:30-13:00

※9/11(日)は寝屋川キャンパスのみ実施

オープンキャンパス  
特設サイトはこちら ▶

